



【プレスリリース】

報道関係各位

2025年5月21日

パルスフィールドアブレーション導入 心房細動の新カテーテル治療を開始

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院（神奈川県横浜市鶴見区、院長：三角隆彦 以下、当院）は、心房細動に対する新たなカテーテル治療であるパルスフィールドアブレーションを導入し、2025年4月25日に初症例を実施し、無事に終了しました。

■ 心房細動とは？

心房細動は脈が速くなる頻脈性不整脈という、不整脈の一種です。正常な心臓は洞結節で発生する電気信号により規則的な拍動を繰り返します。それに対し、心房細動は洞結節以外、特に初期は肺静脈で、異常な電気信号が発生することにより心房が小刻みに震え、痙攣したような状態になるため、心拍数が多くなり、脈が速くなります。主な症状としては、動悸や息切れ、めまいなどがあります。

■ 心房細動の治療法

心房細動の治療には、「薬物治療」と「カテーテルアブレーション治療」があります。薬物治療では、心房細動を止める治療（リズムコントロール）と心拍数を減らし自覚症状を和らげる治療（レートコントロール）があります。カテーテルアブレーション治療は、心房細動の原因となる不規則な電気信号を発する部位を焼灼（アブレーション）して異常な電気信号が広がらないようにします。

■ パルスフィールドアブレーションとは？

これまでのアブレーション治療では「高周波（熱）」や「冷却」などで治療していましたが、これらは心臓のまわりにある横隔膜を動かす神経や食道、肺静脈などにダメージを与えるリスクがありました。

この合併症リスクを低減する新たなアブレーション治療がパルスフィールドアブレーションです。従来の方では熱を使用していたのに対し、パルスフィールドアブレーションでは電気の力で心筋組織だけを選択的に治療する方法で、周囲の組織へのダメージを最小限に抑えられることから、より安全性の高い治療法として期待されています。



ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社より提供

＜本件についてのお問い合わせ先＞

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当:波多野・荒木・吉村

電話:045-576-3000

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3丁目6番地1号

Email:koho@tobu.saiseikai.or.jp



不整脈科部長

坪井一平 (つばいいっぺい)

日本医科大 2006 年卒

2025年4月、心房細動に対するパルスフィールドアブレーションシステムが当院に導入されました。

このシステムを用いることで、より安全に、速く手術ができるため、若い患者さんだけでなく、ご高齢の方も負担を減らしながら、より安全に治療を受けていただくことが可能となっています。

心房細動は心不全を悪化させるため、症状がある場合は当院にご紹介いただき、一度治療の検討をされることをお勧めします。また、症状がなくとも、治療により今後の心不全や脳梗塞のリスクを下げることも期待できます。

心房細動でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ火・水・木に当院までご紹介ください。

<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当:波多野・荒木・吉村

電話:045-576-3000

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3丁目6番地1号

Email: koho@tobu.saiseikai.or.jp